

---

## 「急性大動脈解離手術時の大動脈基部径による長期成績の検討」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの電子カルテの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2010年1月1日～2024年6月30日の期間に、埼玉医科大学国際医療センターで急性大動脈解離に対する人工血管置換術を行った患者さん

#### 2. 研究の目的

急性大動脈解離の手術において、置換範囲に大動脈基部を含めるかどうかは議論の余地があります。基部を置換することで遠隔期の大動脈再手術を回避できるという利点がある一方、周術期の死亡率は高くなります。また、大動脈弁輪拡張症などの病態では基部の大動脈径により手術適応は決められていますが、急性大動脈解離では明らかな指標はありません。本研究では、当院で行われた急性大動脈解離の手術において基部の大動脈径により遠隔期の大動脈手術回避率および遠隔死亡率を比較検討することで、急性大動脈解離時における基部置換の適応を示すことを目的とします。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

電子カルテから、大動脈手術回避率を術前大動脈基部の径により調査し、生存率と合わせて、比較検討します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である吉武明弘が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を収集します。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 吉武 明弘（研究責任者）

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 吉武 明弘（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：急性大動脈解離手術時の大動脈基部径による長期成績の検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 吉武 明弘